

施政方針を 問う

令和2年 第1回定例会 代表質問での質問・答弁(要旨)

各党派等を代表して代表質問を行った議員が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。実際の質問は、自由民主党市議団、国分寺政策市民フォーラム、公明党、日本共産党国分寺市議団、無党派（国分寺・生活者ネットワーク）、無会派の順番で行われましたが、紙面の都合上このように掲載しています。

未来に向けて持続可能なまちづくり

本日は日曜議会、そして天皇誕生日であります。天皇陛下におかせられましては還暦のお祝いでもあり、おめでとうございます。両陛下のご健康と国民の安寧を祈り代表質問をいたします。

持続可能な財政運営について

今後の持続可能な財政運営に向けて伺う。

(市長) 人口減少は全国的に始まり。当市では昨年の人口ビジョンで令和12年がピーク。財政負担は、中長期的な視野で財政運営に努める。収支均衡を図り、基金等も含めて堅実に運営。

児童虐待の防止について

井澤市長になり最初に取り組みされたのが「子どもいじめ虐待防止条例」の制定。昨年9月東京都は児童虐待相談等の連絡調整に関する基本ルールの見直しを行い、児相から市区町村へ事案送致を行う事となった。内容と市の影響を伺う。
(市長) 昨年9月制定の「東京ルール」は従来、児相だけで処理していた情報を早く解決を図るため基礎自治体でも情報を共有し、児相との連携を図るもの。基礎自治体で処理できる軽微なものは早期に対応する体制をつくる。システムにより事務の効率化を図る。守る責務を果たす。

安全で快適な学校生活に向けた環境整備

小・中学校の体育館の空調設備の予算化は評価する。第一中学校の検証結果について伺う。

(教育長) 小学校体育館の空調設置につき他市を視察。第一中学校の体育館では熱中症対策として効果と効率を確認した。防災の視点からも設置の必要性は極めて高い。3年度全校設置。

一人一人を大切にす場の充実

市長は教育環境整備を積極的に進めてきた。今年度、整備する主なものを伺う。

(市長) 今年度はICT環境の整備、中学校の無線LANの整備、各教室でパソコンが使用可能に。トイレ洋式化、教室増設等を継続し注力したい。

プレイステーション (プレステ) について

移転後のプレステはどのような施設となるのか。
(市長) 土地面積も広く、プレイステーションの利用者の方々、親子ひろば、高校生まで幅広い年代が利用できる多目的な施設にしたい。

戦後75年平和を次の世代へ

平和を語り継ぐ事は大切。新たな取り組み、市長の平和への強い思いを伺いたい。

(市長) 戦後75年。今迄の平和行事に加えて東

自由民主党市議団
尾作 義明



京空襲に関する資料展を開催したい。平和祈念行事では長崎の伝承者から講話を聞かせていただく予定。平和を語り継ぐ事に力を注ぎたい。

東京2020大会を契機にした取り組みについて大会後も友好関係を継続、発展させることがレガシーになる。ベトナムとの今後について伺う。

(市長) ベトナムではパラへの理解、スポーツ環境が整っていない。お互いに無いものを交換できるような友好関係、理解をひろめたい。

バリアフリーのまちづくり

国分寺駅の西武国分寺線、多摩湖線にホームドアが整備される。JR駅への設置を要望する。

(市長) 従来から要望。中央線は2025年目処。

新型コロナウイルスへの対応について

感染対策、現状の検討状況を伺う。

(市長) 国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。情報共有、情報提供に努めたい。

その他、西町三丁目交差点改良事業、無電柱化事業、台風を教訓とした防災力の向上等を質問。

「未来」を見据え、「今」を堅実に前へ！

自治体経営と人口について

だて) 多摩地区で1位の人口増加率となった当市であるが、立地の良さだけではこの先も「選ばれる街」を持続していく事は厳しい。人口減少の中、特に若年層の定住を都市間競争の中で勝ち得ていくための中長期的な戦略を伺う。

(市長) 子育て施策や交通空白地域の解消、緑の保全等の取組みが受け入れられた成果として人口増に繋がったと考える。更に「科学のまち」といった要素も魅力の一つとして発信していく。

新型コロナウイルス対策について

だて) 感染が拡大している新型コロナウイルスであるが、国分寺市や近隣市において感染者が発生した場合の対応を伺う。※2月23日時点

(市長) 市対策本部を立ち上げ、多摩立川保健所との連携をとりながら情報収集と提供を行う。

小学校体育館のエアコン設置について

だて) 当会派からも強く要望していた小学校体育館へのエアコン設置が予算計上されたことを大きく評価する。課題となっていた鉄骨造である小学校体育館への冷房効果の検証は確実になされたとの理解で良いか確認する。

(教育長) 他市の同構造の体育館を視察し、断熱設備を施さずとも1時間で約7℃下がったことを確認したことから、当市においてもエアコンの設置を決定した。

性差の無い、多様な暮らしを目指して

だて) 女性活躍、ジェンダーフリーについて施政方針にしっかりと取り入れられている事は評価するが、社会の根底にある無理解や古い価値観に切り込む具体的な施策は見えてこない。

また、同性パートナーシップ制度についても進めていくとのことだが、これを機にどのように市民全体に理解を深めてもらうかが重要なポイントであると考えている見解を伺う。

(市長) 残念ながら未だジェンダーへの意識が残っていることは確かであり、それを払拭していくためには市民の理解や協力が必要である。市としてもあらゆるツールを使いながら、近隣自治体の例も参考に進めて参りたい。

鉄道に関連した魅力発信について

だて) 市内には鉄道総合技術研究所があり、新幹線ひかり号の技術開発が行われた事など、鉄道に関連した人を呼び込める資源が多くある。

国分寺政策市民フォーラム
だて 淳一郎



今後、市庁舎移転に際し、ひかりプラザに空きスペースが生まれるが、鉄道総研の方々にもご協力頂き、活用の検討を進めてもらうことも含め、鉄道にまつわる魅力発信を求める。

(市長) 当市は鉄道学園があったことなども含め、鉄道と深いつながりがある。鉄道総研も大変協力的であり、今後も一緒になって大きな魅力の一つとして鉄道について発信していきたい。

ペットボトル戸別回収について

だて) 本年7月を目途にペットボトルの戸別回収を開始するとの表明があった。排出抑制を前提にとのことだが、若い世代を中心に逆に排出拡大へつながってしまうのではないかといった懸念の声が多くある。排出抑制を市民にどのように理解し実行してもらうか見解を伺う。

(市長) 様々な意見があるのは承知している。市役所内でもペットボトル削減に率先した取り組みを行うとともに、7月からの戸別収集の実績を見て、その次の対策を検討したいと考えている。

市政運営・市政改革の柱は人材育成にあり！

木村=限られた時間なので、政策論は予算委員会で行い、ここでは人材育成を中心に伺う。施政方針に「変化を受け止め、適応できる職員」とあるがそうした職員をどう育成していくのか。
市長=人材育成は一朝一夕にはいかないが、庁内研修を充実し、自分のノウハウも話すように努めている。幅広い分野を経験させることで縦割り行政を排し、人材育成を図っている。

木村=かつては都合が悪いことは隠す風潮があったが、井澤市政での、ミスも積極的に明らかにし改めていく姿勢は評価している。一方で、課長がやるべきことを部長、部長がやることを副市長がやってしまうような問題が見える。

市長=多くの知恵を集めて決定していくプロセスを踏みつつ、一つ上の仕事を目標として、スピード感をもった職員を育てていく。

無党派
木村 徳



木村=財源があつての政策実現であり、庁舎建設も控える中でコスト意識の浸透が重要だ。

市長=令和2年度は収支均衡予算を達成できたが、将来に渡っての負担を考えつつ、歳入増と歳出抑制を図り、財政規律を確立していく。